

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

都道府県名 北海道  
市区町村名 津別町

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
津別町	①学校運営上の課題	障害や困難を抱える児童生徒への対応	令和5年度の各小中学校特別支援学級児童・生徒数は、津別小学校25名、津別中学校23名となっており、例年、1教室2～3名の児童生徒を1人の教員が指導する実態となっている。突発的衝動的な行動への対応や、障がいの程度に合わせたマンツーマン指導・見守りをするだけでは学習活動をしていくことが難しい児童生徒が各学年に一定数いることから、教員1人ではひとりひとりに応じた細やかな指導が難しいという課題がある。	・特別支援・共生社会サポーター（学習補助員）を各小中学校に派遣し、教員との連携により、児童生徒ひとりひとりに十分な個別支援を行う。 ・教員の業務負担軽減から、教員のゆとりをつくり、ひとりひとりに応じた細やかな指導を行う。	児童生徒ひとりひとりに十分な個別支援を行う。	特別支援・共生社会サポーター（学習補助員）と教員の連携により、教員にゆとりができ、児童生徒ひとりひとりに十分な個別支援が行えたと回答する教員の割合（津別町教育委員会のアンケート調査）	70	%	70			

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。